



## 人間文化学部のアドミッション・ポリシー

人間文化学部は、福山大学の教育理念である「人間性の尊重と調和的な人格陶冶」にもとづき、人間そのものと、人間が創り出した文化と、人と人をつなぐメディアについて学びます。そのため、本学部は、人間に対して深い関心を持ち、人間が作り出した文化や社会について研究したいという意欲をもっている人を求めています。体験や実践を重視した授業が多いことから、行動力があり活動的な人にとっては魅力的な学部だと言えます。また、社会的視野を広くもち、社会から問題を見つけ、学んだことを実践し、社会に還元していく人を求めます。

人間文化学部には、心理学科、人間文化学科、メディア情報文化学科の3学科があり、各学科は、さらに加えて次のようなアドミッション・ポリシーをもっています。

### 【心理学科】

心理学科では、心の働きや行動のしくみについて学び、人間関係の調整役もできる人を育成します。そこで、次のような人を求めています。

- ・幅広い心理学を学びたいという好奇心に富み、独創性を発揮する意欲のある人
- ・ボランティア精神とリーダーシップ能力を有し、実行に移す行動力のある人
- ・人とのコミュニケーション、社会の動きに関心があり、心理学を社会に生かしたい人

### 【人間文化学科】

人間文化学科では、人間の最大の特徴である言語と、人間の心が生み出した思想や文学や歴史について学び、自らも文化の創造を目指します。そこで、次のような人を求めています。

- ・言語能力（コミュニケーション能力・分析力・表現力・語学力）を磨きたい人
- ・文化（言語・思想・歴史・文学）について幅広く学びたい人
- ・文化の創造（イベント企画・雑誌編集など）への意欲のある人

### 【メディア情報文化学科】

メディア情報文化学科では、人の心と心をつなぐものとしてのメディアの役割につ

いて学び、自ら情報を創り出し、発信する能力を習得します。そこで、次のような人を求めています。

- ・ テレビ・映画・音楽・ゲーム・CG・Web など、メディアについて幅広く学びたい人
- ・ 表現・会話・コミュニケーション・プレゼンテーションの能力を磨きたい人
- ・ 社会の時事的な問題の解決に意欲をもっている人

このようなポリシーをもって学生を受け入れる方法として、何種類かの入試を用意しています。これにより、多様で優秀な人材を得たいと願っています。

### 【AO入試】

とくに秀でた教科や技能があり、人間文化学部でその方面をさらに伸ばしたいと考えている人が、その興味・関心・意欲を大切にして挑戦します。受験生が自ら、自分の興味・関心・意欲がアドミッション・ポリシーに合致しているかどうかを判断することが重要です。入試では、その判断の適切性を小論文やプレゼンテーション（発表）により評価し、かつ専門教育に耐えられるだけの基礎学力を有するか否かも口頭試問等により確認します。

### 【指定校入試、推薦入試】

受験生自身が、自分の希望や進路とアドミッション・ポリシーの適合性を判断するだけでなく、高等学校での成績や業績・活動が顕著でかつその内容がアドミッション・ポリシーに合致していると判断した高等学校長の推薦を必要とします。したがって、基本的に、高等学校での教育成果とその評価を尊重しますが、指定校入試では、志願する学科に関係したテーマのもとでの小論文と、主に志望動機と意欲を問う面接により判定します。推薦入試では、基礎学力を問うための英語を含む2科目の試験と、主に志望動機と意欲を問うための面接により判定します。

### 【前期入試・後期入試、大学入試センター試験利用入試】

受験生自身が、自分の希望や進路とアドミッション・ポリシーの適合性を判断した上で、アドミッション・ポリシーが要求する学力に重点を置いて挑戦します。前期入試・後期入試では、人間文化学部の教育に不可欠な英語・国語の必須科目のほかに、幅広

い学力を問うための他の1科目により判定します。大学入試センター試験利用入試では、大学入試センター試験のうち人間文化学部の教育に不可欠な英語を必須科目とし、幅広い学力を問うために他の1~2科目を加えて判定します。

なお、合格の早く決まるAO入試、指定校入試、推薦入試による入学者には、残りの高校生活を有意義に過ごし、大学教育にスムーズに入っていけるように、各学科から、「読書力をふやす」、「一般常識を身につける」、「英語の力をつける」等の入学前課題を出します。また、入学後、大学の勉強や生活にとまどいが生じた場合は、大学教育センターの学習支援室や上級生による学習支援などを受けることができます。

